

# 株式会社 学研ホールディングス 第2四半期決算説明会

2015年5月27日

# **2015年9月期業績、および 2ヵ年計画「Gakken2016」進捗状況 ハイライト**

**株式会社学研ホールディングス  
代表取締役社長 宮原 博昭**

# 2015年9月期業績ハイライト

## 2015年9月期 第2四半期 累計業績

- 売上高: 49,855百万円(前年同期比 +2,760百万円)
  - 営業利益: 1,260百万円(同 +731百万円)
  - 当期純利益: △755百万円(同 △384百万円)
- 第2四半期より(株)文理を連結子会社化
  - 「出版事業」における特別損失計上

## 2015年9月期 通期業績見通し

- 売上高: 95,000百万円(前年同期比 +4,866百万円)
  - 営業利益: 1,500百万円(同 +1,220百万円)
  - 当期純利益: 300百万円(同 +269百万円)
- 2015年2月25日に公表した修正業績予想から  
変更無し

# 2ヵ年計画「Gakken2016」進捗状況

## 成長軌道に乗せるための事業再構築

### 教育ソリューション 事業

#### 《教育コンテンツ & サービスの創造企業へ》

##### ■ 成長期待分野の事業推進

- 教育ICT: 学校・家庭・塾をつなぐ新たな教育モデル創造
- デジタル出版: コンテンツのマルチユースによる  
多様なメディア展開
- グローバル展開: アジア各国の教育事情にあわせた  
サービス提供

##### ■ 出版事業の選択と集中

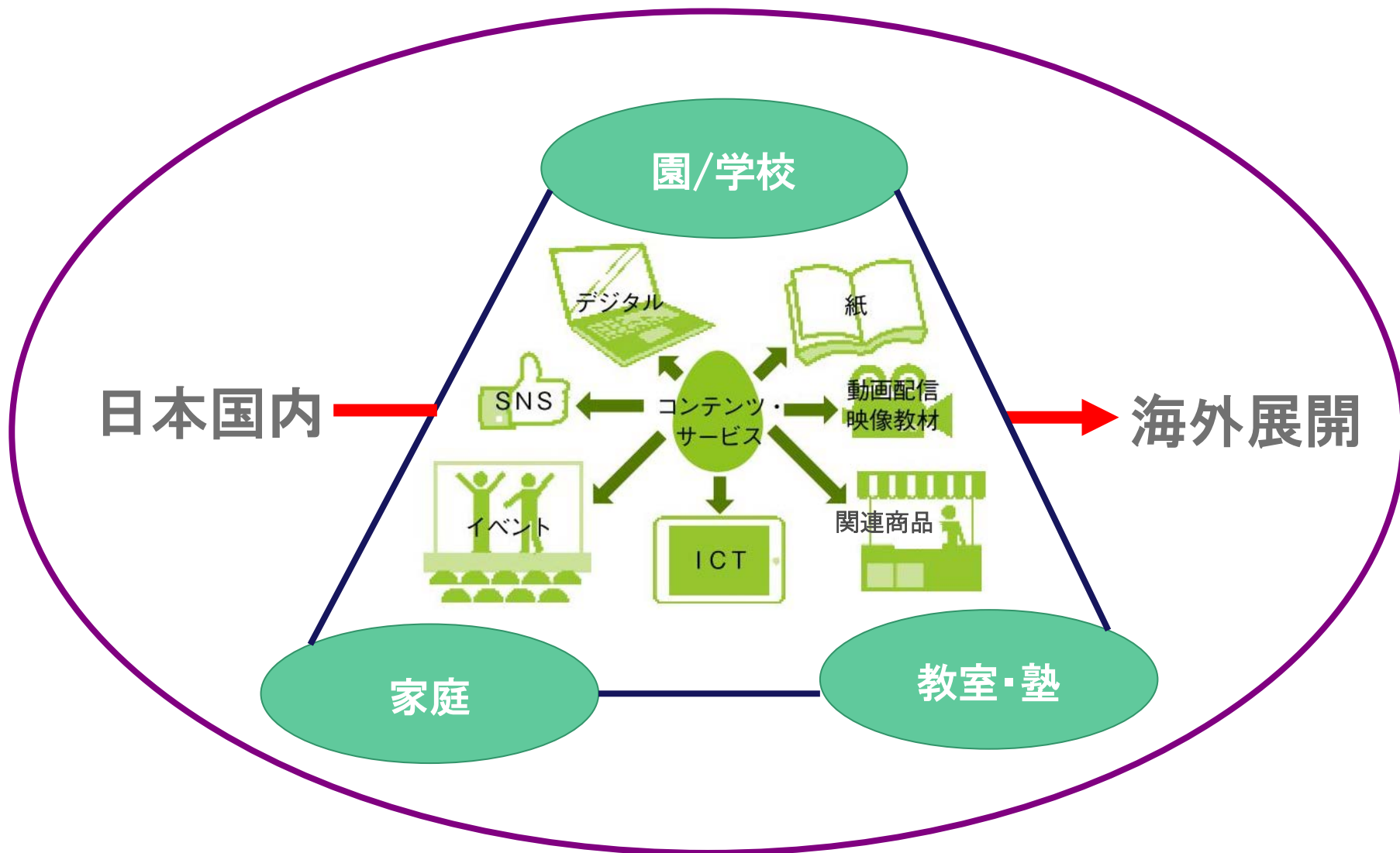
- 教育領域へ経営資源集中
- 不採算分野事業の縮小

### 高齢者福祉・ 子育て支援事業

#### 《2015年9月期以降の利益確保と将来成長の実現》

- 高齢者福祉施設の全国展開
- 開発案件のグループ内協力体制強化

# 《教育コンテンツ＆サービスの創造企業へ》



# **第2四半期累計業績概要 および通期業績見通し**

**株式会社学研ホールディングス  
常務取締役 中森 知**

# 2015年9月期第2四半期累計業績

(単位：百万円)

	‘14年9月期 2Q累計	‘15年9月期 2Q累計	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	47,095	49,855	+2,760	+5.9%
営業利益	528	1,260	+731	+138.3%
当期純利益	△ 371	△ 755	△ 384	—

## ■ 売上高

- 第2四半期より(株)文理を連結子会社化
- 「出版事業」における既存事業の減少
- 「高齢者福祉・子育て支援事業」の増加

## ■ 営業利益

- (株)文理の営業利益加算
- 「教室・塾事業」の運営効率化による利益増加
- 「高齢者福祉・子育て支援事業」の増収による改善

## ■ 当期純利益

- 出版事業の不採算事業廃止に伴う特別損失計上

# 2015年9月期第2四半期累計業績 特別損失計上について

## 2015年9月期 第2四半期累計

### 《出版事業における特別損失計上》

#### ■ 計上金額: 1,048百万円

〈内訳〉棚卸資産評価損等 931百万円  
希望退職に伴う割増金等 116百万円

#### ■ 計上事由:

- 出版事業の一部廃止  
・学研M文庫 ・一部のムック(歴史、女性実用関係)
- 希望退職募集の実施
  - ✓ 募集人員: 出版事業子会社各社の正社員 若干名
  - ✓ 募集期間: 平成27年2月25日～平成27年3月13日
  - ✓ 退職日: 平成27年4月28日

## 2015年9月期 下期への インパクト

#### ■ 在庫処分や販売経費の減少などで、前期に対し 営業利益 約400百万円改善見込



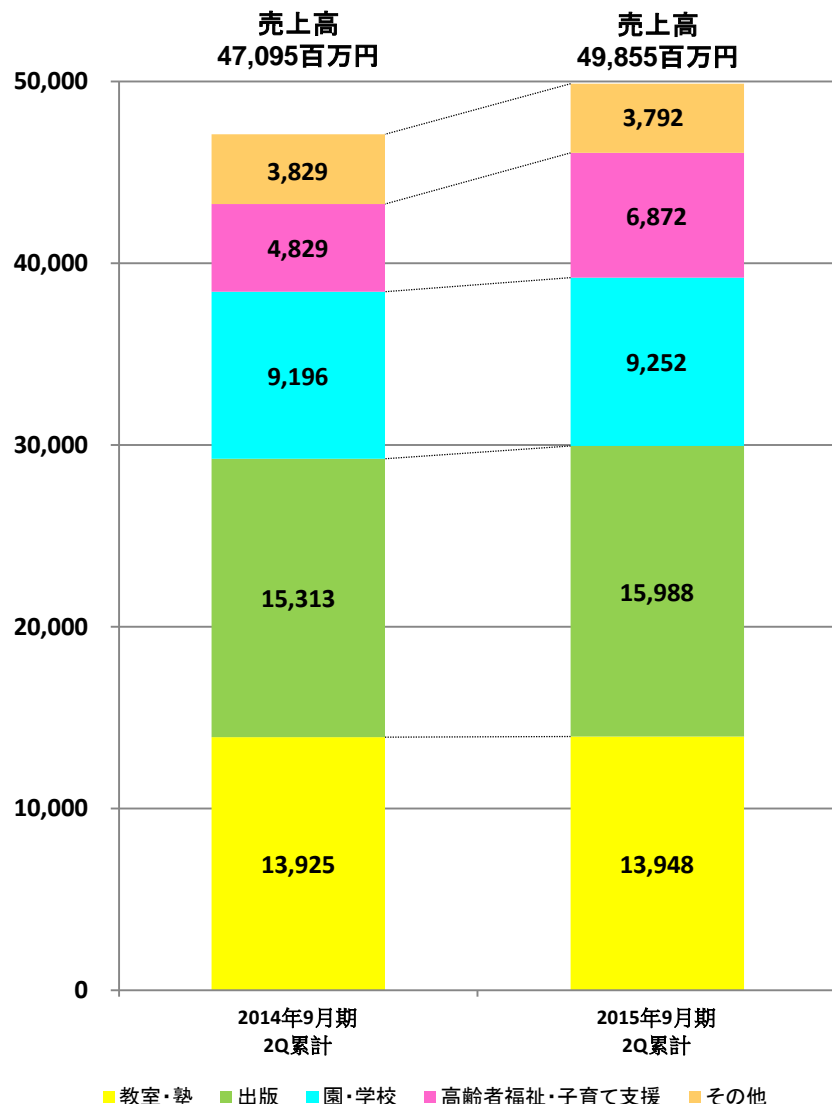
# 2015年9月期第2四半期累計 セグメント別業績

(単位：百万円)

セグメント名	項目	'14年9月期 2Q累計	'15年9月期 2Q累計	前期比 増減額	前期比 増減率
教育ソリューション事業	売上高	38,435	39,190	+754	+2.0%
	営業利益	936	1,339	+403	+43.0%
	教室・塾事業	売上高	13,925	+23	+0.2%
		営業利益	645	+342	+53.0%
	出版事業	売上高	15,313	+675	+4.4%
		営業利益	△ 292	△ 28	—
	園・学校事業	売上高	9,196	+55	+0.6%
		営業利益	584	+89	+15.3%
高齢者福祉・ 子育て支援事業	売上高	4,829	6,872	+2,042	+42.3%
	営業利益	△ 419	△ 132	+286	—
その他	売上高	3,829	3,792	△ 36	△ 1.0%
	営業利益	17	52	+34	+197.6%
調整額	売上高	—	—	—	—
	営業利益	△ 5	0	+6	—
合計	売上高	47,095	49,855	+2,760	+5.9%
	営業利益	528	1,260	+731	+138.3%

# セグメント別業績 《売上高》

(単位：百万円)



※( )内は前年同期比

## ■ 教室・塾 (+23)

- 「学研教室」事業：生徒数微減
- 進学塾事業：顧客単価アップ等による増加

## ■ 出版 (+675)

- 不採算分野の事業見直しに伴う送品減少
- 児童向け読み物等の販売部数伸び悩み  
(既存事業売上高：△2,146)
- (株)文理の連結子会社化による増加(+2,821)

## ■ 園・学校 (+55)

- 小学校保健体育分野での教科書指導書等の販売高増加

## ■ 高齢者福祉・子育て支援 (+2,042)

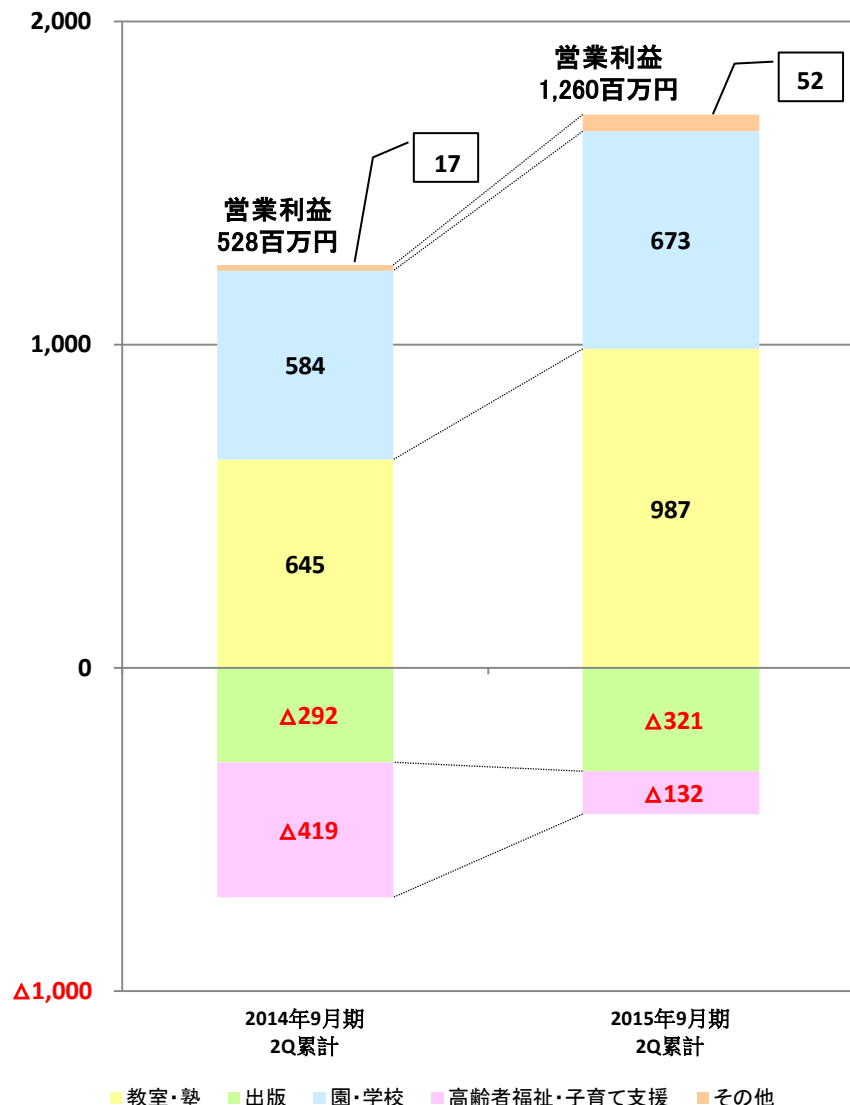
- サ高住の新規開設による増加(+975)
- 西日本エリアの医療法人等からの高齢者物件承継による増加(+677)

## ■ その他 (△36)

- 文具・雑貨事業や採用・就職支援事業での減収

# セグメント別業績 《営業利益》

(単位：百万円)



※( )内は前年同期比

## ■ 教室・塾 (+342)

- 教室運営の効率化、募集費・販促費等の適正化によるコスト減

## ■ 出版 (△28)

- 既存事業は減収・不採算事業の在庫整理などで減益 (△757)
- (株)文理の業績加算により損失減少 (+729)

## ■ 園・学校 (+89)

- 小学校保健体育分野での教科書指導書の売上増による増益

## ■ 高齢者福祉・子育て支援 (+286)

- 増収、施設運営の効率化によるコスト減

## ■ その他 (+34)

- 家庭訪問販売事業の損益改善

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	'14/9月末	'15/3月末	増減	増減率
流動資産	46,648	51,300	+4,652	10.0%
固定資産	27,851	35,593	+7,742	27.8%
資産合計	74,499	86,894	+12,394	16.6%
流動負債	21,129	30,063	+8,934	42.3%
固定負債	20,463	22,510	+2,047	10.0%
負債合計	41,592	52,574	+10,982	26.4%
純資産合計	32,907	34,319	+1,412	4.3%
負債・純資産合計	74,499	86,894	+12,394	16.6%

■現預金：△2,542百万円  
※連結キャッシュフロー計算書参照  
■売掛債権：+7,007百万円

■有形固定資産：+5,640百万円  
・サ高住開設による増加  
■投資その他の資産：+1,457百万円

■買掛債務：+2,356百万円  
■短期借入金：+3,763百万円

■長期借入金：+1,048百万円  
・サ高住開設による借入

■株主資本：△1,745百万円  
・利益剰余金：△1,786百万円  
■その他の包括利益累計額：  
+2,005百万円  
・評価差額金：+721百万円  
・退職給付に係る調整累計額：+1,158百万円  
■少数株主持分：+1,139百万円

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	'15年9月期 2Q累計
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 608</b>
税金等調整前当期純利益	212
減価償却費、のれん償却額	786
引当金増減	795
売上債権の増減額	△ 5,911
たな卸資産の増減額	1,370
仕入債務の増減額	1,409
法人税等の支払額	△ 294
その他	1,022
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 5,235</b>
有形・無形固定資産の取得・売却	△ 5,346
投資有価証券の取得・売却	499
その他	△ 388
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,239</b>
借入金の増減額	3,745
配当金支払額	△ 462
その他	△ 44
<b>現金・現金同等物増減額</b>	<b>△ 2,521</b>
<b>現金・現金同等物期末残高</b>	<b>12,868</b>

■(株)文理の連結子会社化  
 ■園・学校事業の新年度需要

■サ高住取得

■短期借入金：+2,959百万円  
 ■長期借入金：+785百万円  
 ・サ高住取得による借入

# 2015年9月期通期業績見通し

(単位：百万円)

	‘14年 9月期 実績	‘15年9月期				前期比 増減額	前期比 増減率
		期首計画	2月25日 修正計画	見通し	2/25対比 増減額		
売上高	90,134	93,000	95,000	95,000	-	+4,866	5.4%
営業利益	280	1,500	1,500	1,500	-	+1,220	435.7%
当期純利益	31	700	300	300	-	+269	867.7%

◎ 2015年2月25日に公表した修正業績予想から変更無し

## ■ 売上高

- (株)文理の連結子会社化による増加(+3,500)
- 既存出版事業は減少(△3,000)
- 「高齢者福祉・子育て支援事業」の増加
  - ✓ サ高住新規開設・事業承継(+3,500)
  - ✓ 保育施設開設(+500)

## ■ 営業利益

※( )内は前年同期比

- (株)文理の連結子会社化による利益増加(+500)
- 既存出版事業は不採算事業廃止などの効果による改善(+500)
- 「高齢者福祉・子育て支援事業」の利益増加(+500)

## ■ 当期純利益

- 「出版事業」における特別損失計上

# 出版事業の 今後の展開について

株式会社学研出版ホールディングス  
代表取締役社長 碓 秀行

# 出版グループの方向性

## 出版事業

### ■ 不採算分野を縮小し、経営資源を教育分野にシフト

- 不採算事業の縮小：文庫・ムックの一部廃止、特別損失の計上
- 主力事業の強化：教育分野（学習参考書や児童書）に注力

## 出版PLUS事業

### ■ 既存出版事業以外の収益モデルの確立

- 電子出版の拡大：学習参考書・児童書分野拡充
- 受託事業の強化：自治体・企業向け教育サービス事業増強
- 新規事業の立ち上げ：シニア層対象事業、語学関連事業など

## 組織再編

### ■ 上記を実現するためのスピードと効率を重視した組織作り

- 2015年3月 (株)文理をグループ化
- 2015年10月 出版グループ内の組織統合



# 主力事業の現状と方向性

## 学習参考書

### ■ 現状

- 小中学参は(株)文理のグループ化もあり、トップシェアを堅持
- 辞典もキャラクターもののヒットにより好調

### ■ 方向性

- ICT・語学を切り口とした新サービスを本格展開
  - ✓ 動画やアプリとリアルを組み合わせた新しい学習スタイルを提案
  - ✓ ICT準拠教材開発と塾販売強化
  - ✓ 高校学参のシェア拡大と新サービス
  - ✓ 語学事業の本格スタート

## 児童書

### ■ 現状

- 「アナ雪」「妖怪ウォッチ」のヒットによる一時的なマイナス影響
- 図鑑市場における競争激化
- 読み物市場でのヒットシリーズ開発中の躍り場

### ■ 方向性

- 知育・読み物・図鑑という児童書3大ジャンルでの売上利益を拡大
  - ✓ 幼児知育分野のラインナップ拡充
  - ✓ 女児向け読み物におけるヒットシリーズ立ち上げ
  - ✓ 図鑑市場でのトップシェア奪還
  - ✓ キャラクターのライセンスビジネスやグローバル展開

# 組織再編

2015年3月

## ■ 希望退職者募集の実施

2015年9月末まで

## ■ 出版から他セグメントへの配転

2015年10月予定

## ■ 出版セグメント内の3社統合

経営課題解決にスケールメリットで対応するため

- 管理部門・管理職層の効率化
- 出版PLUS事業推進部門の強化
- 編集部門の最適化
- 編集と営業の製販一体化

# 高齢者福祉・子育て支援事業の 今後の展開について

株式会社学研ココファンホールディングス  
代表取締役社長 小早川 仁

# 2015年9月期第2四半期累計業績

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	'14年9月期 2Q累計	'15年9月期 2Q累計	前期比増減	'14年9月期 2Q累計	'15年9月期 2Q累計	前期比増減
高齢者福祉事業	4,226	6,063	+1,836	△346	△73	+273
子育て支援事業	602	809	+206	△72	△59	+12
合計	4,829	6,872	+2,042	△419	△132	+286

## 《高齢者福祉事業》

### ➤ ココファン首都圏※

✓ 入居率は前年同期比で改善

75%(14年3月末)→85%(15年3月末)

✓ ブロック制の導入等により個店管理体制向上

✓ デイサービス事業伸長

### ➤ ココファン大阪・岡山

✓ 投資コスト先行

✓ 入居率は事業譲受以降、改善傾向も未だ途上

※ココファン大阪・岡山の  
施設を除く

## 《子育て支援事業》

➤ 充足率は堅調に推移

➤ 園数増による保育士等の人材確保に注力

## 《その他》

➤ シスケア

✓ 開発案件のグループ内協力体制強化

# 2015年9月期下期以降の取り組み

## 高齢者福祉 事業

### ➤ココファン大阪・岡山

#### ◎稼働率引き上げ・運営体制の強化

- ✓営業人員の投入
- ✓料金体系の見直し
- ✓スタッフ体制の強化

### ➤ココファン首都圏

#### ◎収益性の更なる向上

- ✓個店管理の徹底による入居率向上
- ✓訪問介護サービスの強化
- ✓デイサービス事業の促進

## 子育て支援 事業

### ➤人材確保への対応

- ✓保育士等の確保
- ✓社宅の導入

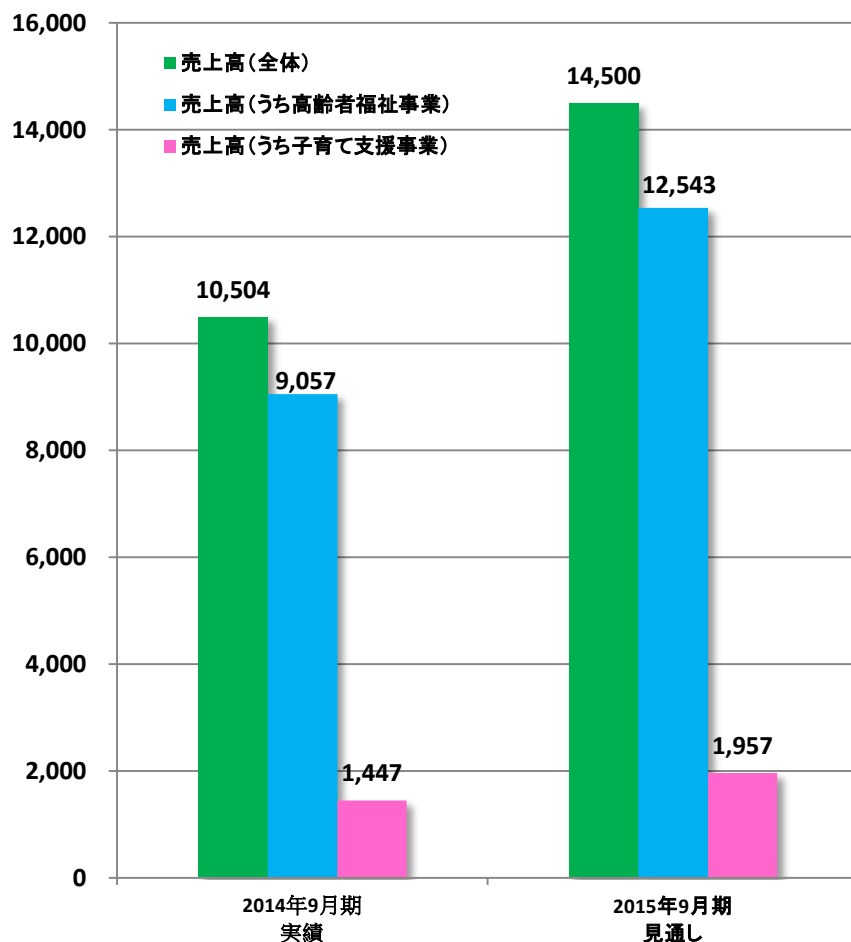
### ➤保育園のサービス向上

- ✓研修体制の強化

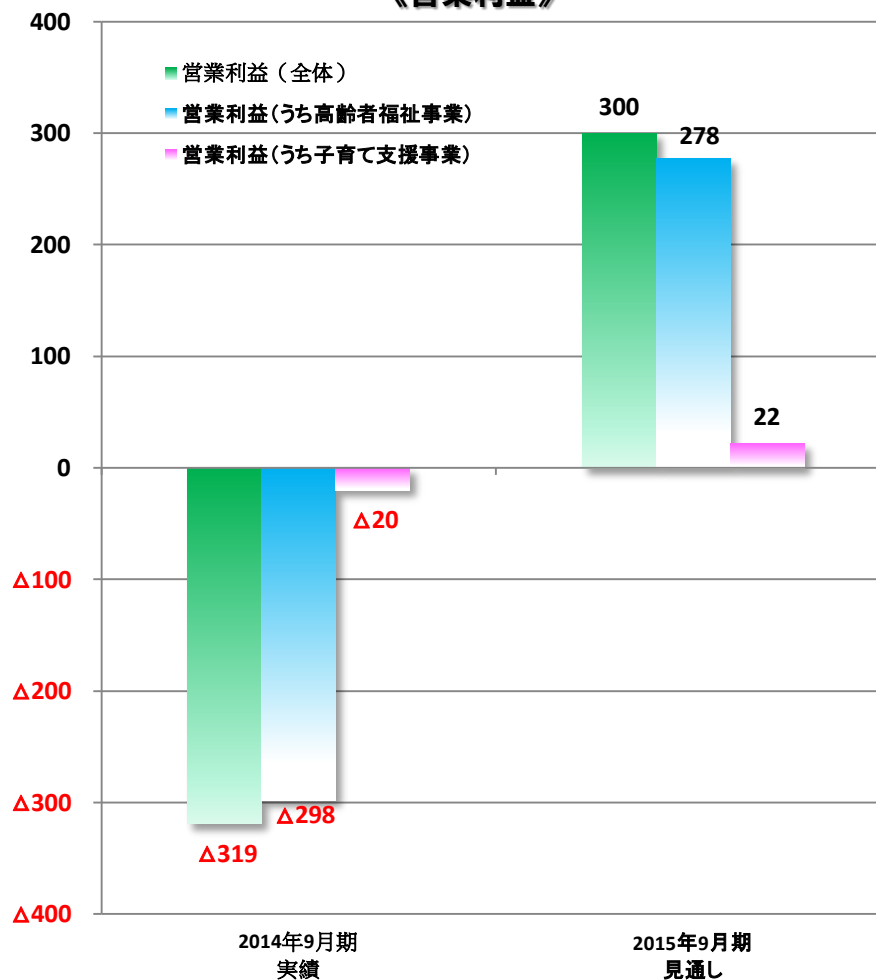
# 2015年9月期通期業績見通し

(単位：百万円)

## 《売上高》



## 《営業利益》

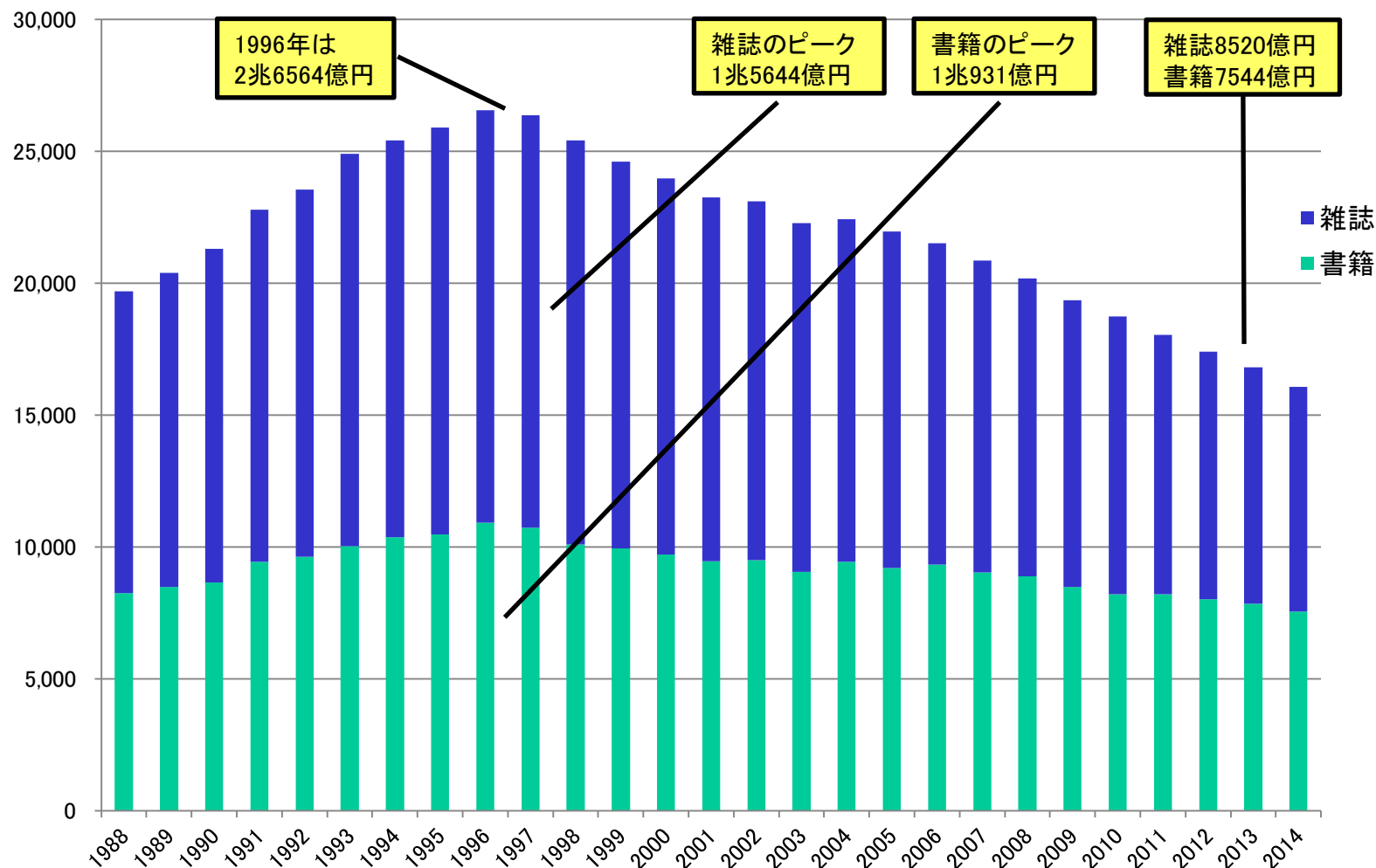


# 補足資料

# (1) 出版業界状況 出版物売上高の推移

2014年の出版物販売金額は1兆6065億円。ピーク時の60%に

※出典／出版科学研究所「2015年版出版指標年報」

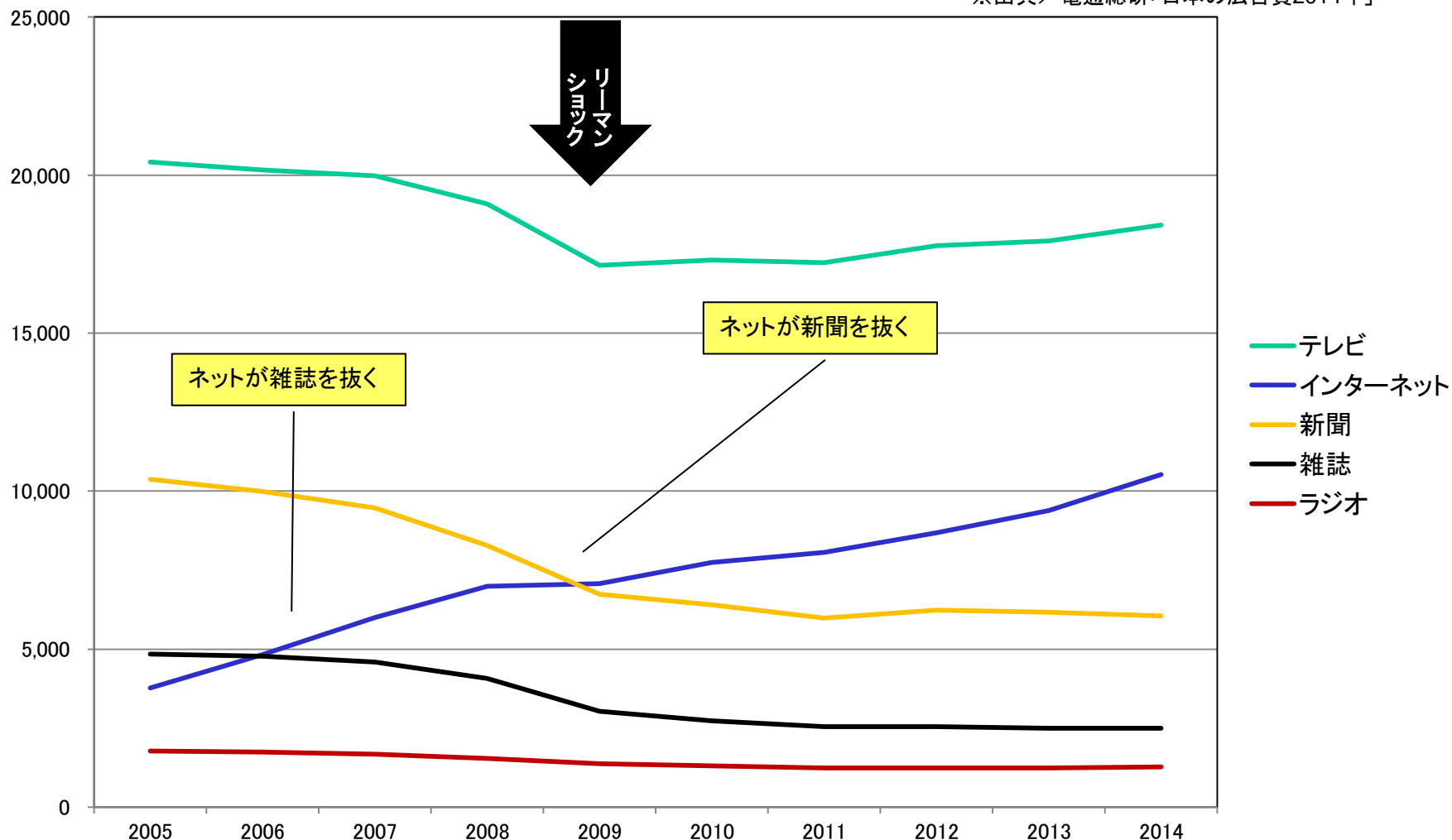




# (1) 出版業界状況 媒体別広告費の推移

2014年の雑誌広告費は2500億円。2005年のほぼ半分

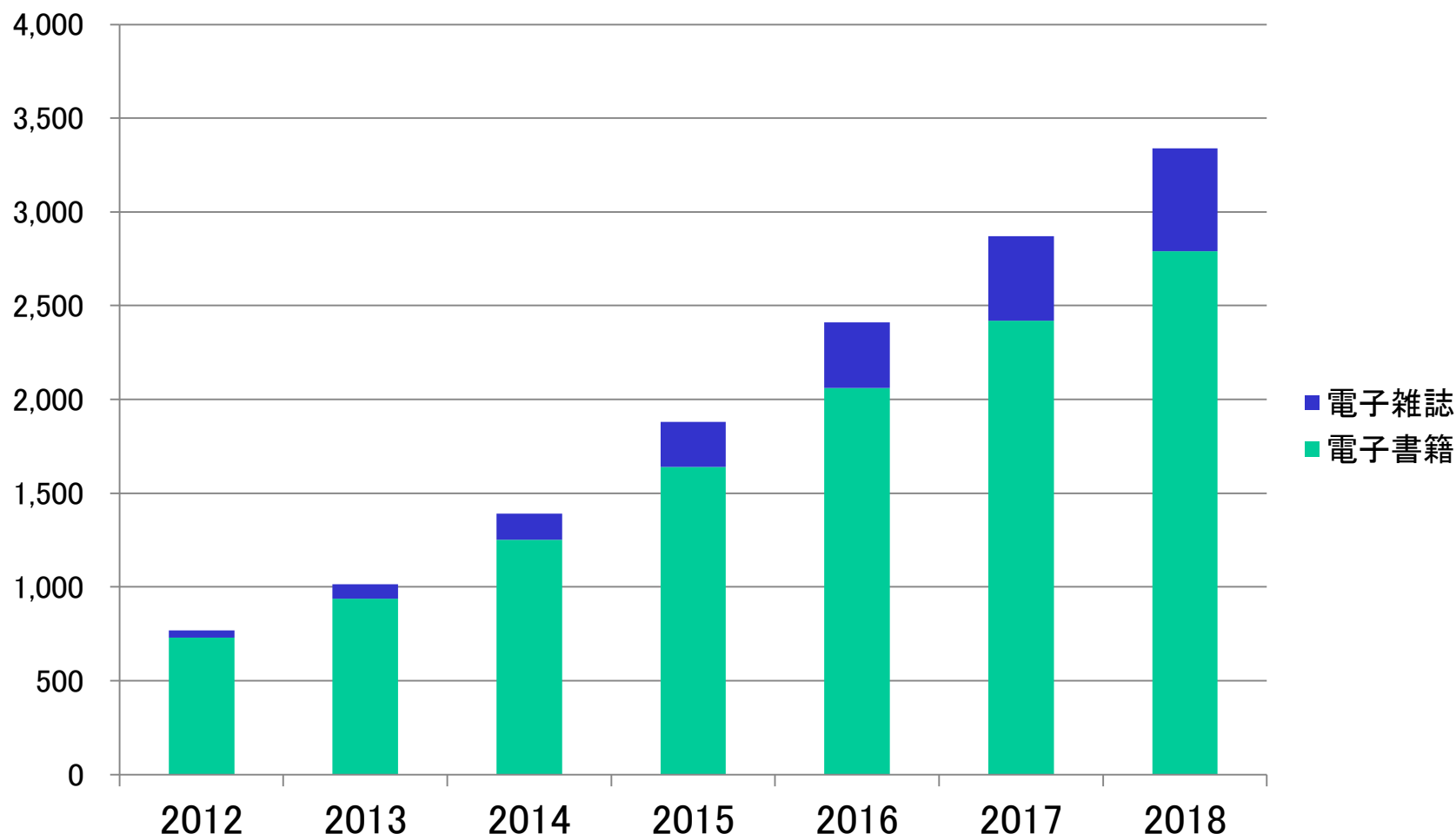
※出典／電通総研「日本の広告費2014年」



# (1) 出版業界状況 国内電子出版売上高の推移

2013年に1000億円突破。2018年3340億円、2020年には4000億円超？

※2014年6月のインプレス総合研究所データによる。2014年以降は予測



## (2) 高齢者福祉・子育て支援事業

## 事業展開の状況

### 開設実績

開設拠点数	‘14年9月期		‘15年9月期上期		‘15年9月期上期(累計)	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
高齢者住宅	10	9	6	8	86	87
保育施設	8	5	0	0	24	21

### ‘15年9月期上期の地域別開設状況

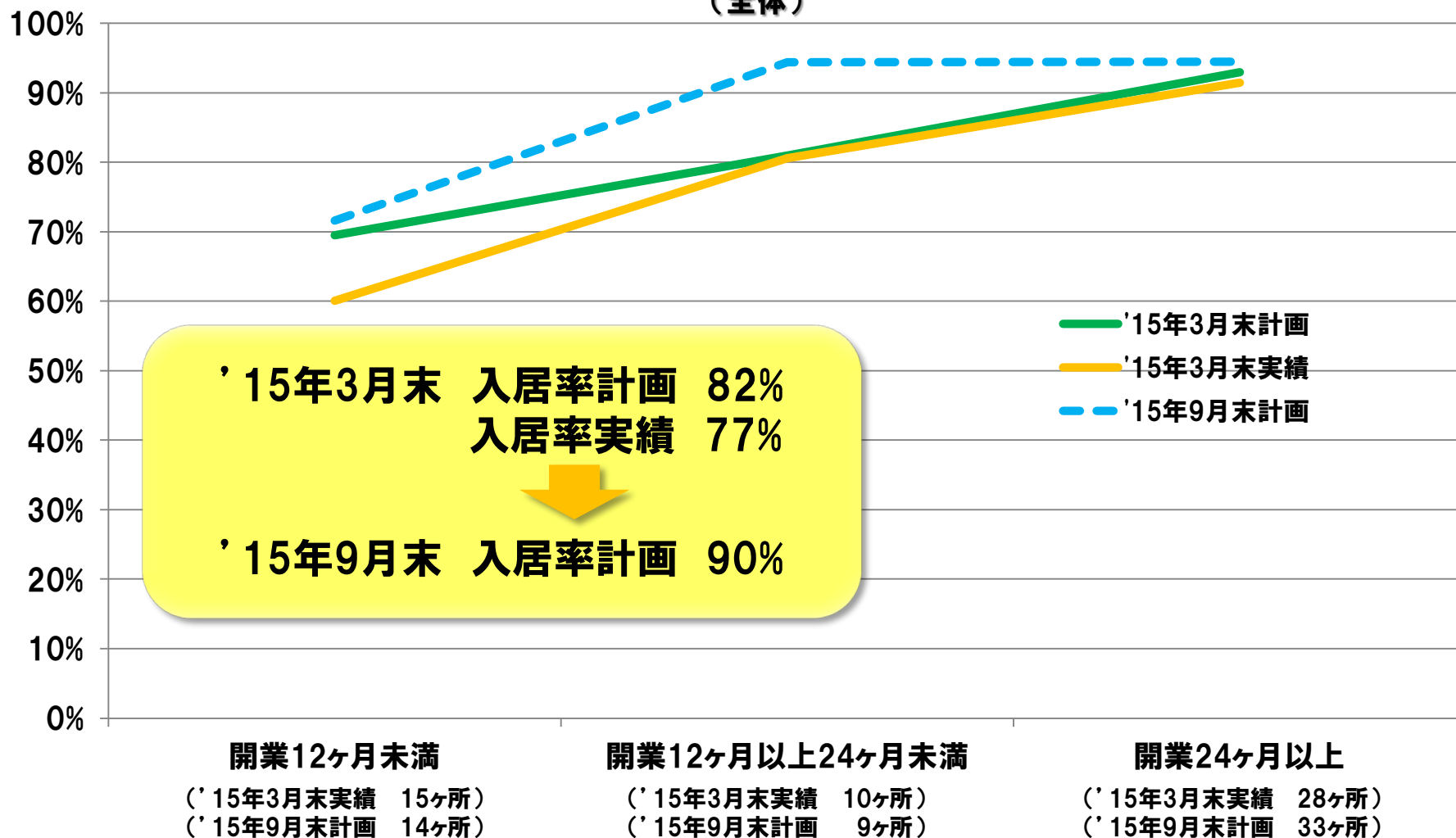
開設数	開設地域
高齢者施設	大阪府(5) 岡山県(2) 愛媛県(1) 《計8拠点》
保育施設	(全て2015年4月に開設予定)

### ‘15年9月期通期の地域別開設予定

開設数	開設地域
高齢者施設	大阪府(5) 岡山県(2) 愛媛県(1) 千葉県(1) 神奈川県(1) 東京都(2) 《計12拠点》
保育施設	東京都(5) 千葉県(2) 神奈川県(3) 《計10拠点》

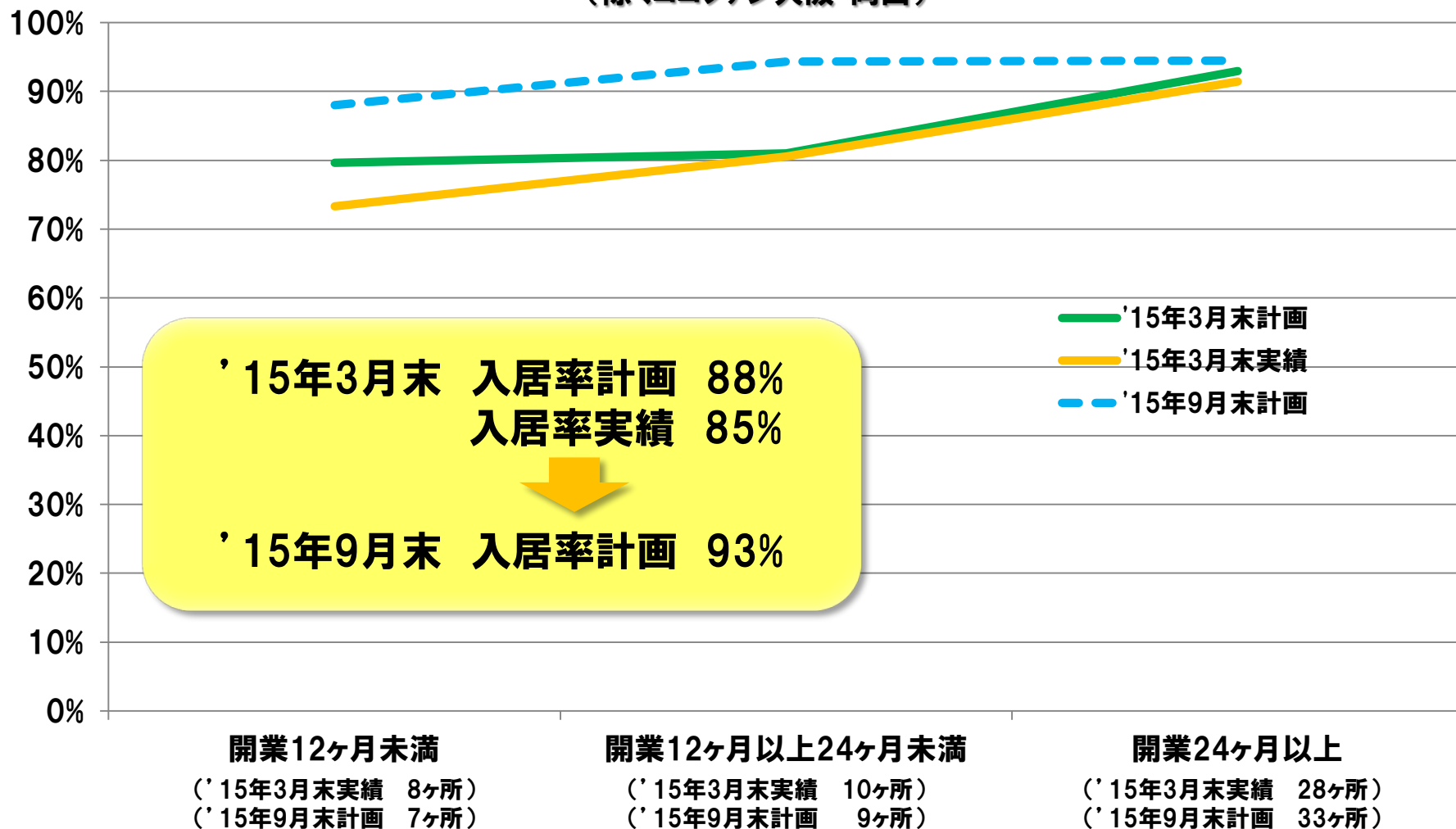
## (2) 高齢者福祉・子育て支援事業 高齢者住宅(ココファン)入居率の状況①

ココファン開業期間別入居率実績  
(全体)



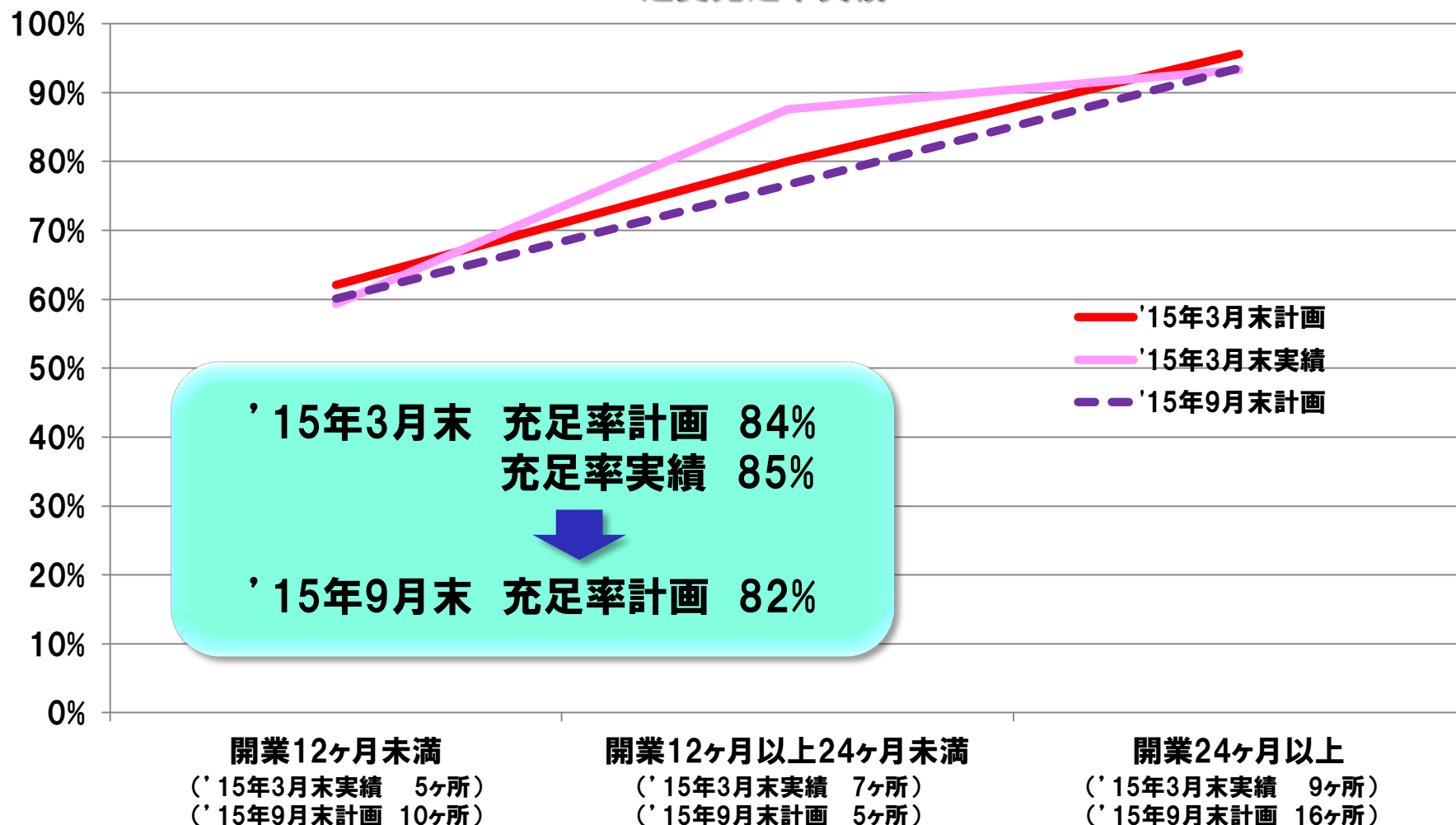
## (2) 高齢者福祉・子育て支援事業 高齢者住宅(ココファン)入居率の状況②

ココファン開業期間別入居率実績  
(除くココファン大阪・岡山)



## (2) 高齢者福祉・子育て支援事業 子育て支援施設充足率の状況

ココファン・ナーサリー開業期間別  
定員充足率実績



## (2) 高齢者福祉・子育て支援事業 入居率・充足率の状況(2015年3月末)

		'14年9月末		'15年3月末		'15年9月末 計画
		計画	実績	計画	実績	
高齢者福祉事業 (除く西日本エリア承継 7施設)	総戸数	3,287	3,210	3,271	3,271	3,456
	入居数	2,771	2,616	2,883	2,800	3,179
	入居率	84%	81%	88%	86%	92%
高齢者福祉事業	総戸数			4,086	4,086	4,271
	入居数			3,364	3,318	3,824
	入居率			82%	81%	90%
子育て支援事業	定員数	1,580	1,389	1,389	1,389	1,935
	園児数	1,220	1,170	1,167	1,175	1,578
	充足率	77%	84%	84%	85%	82%

※高齢者福祉事業は(株)ユーミーケアの計画及び実績値を含む

## (2) 高齢者福祉・子育て支援事業 開設推移及び予定

